

球磨の春メロン、ミツバチぶんぶん

球磨地方ではアンデスメロン35ha、ホームランメロン7.7ha、プリンスメロン8.6ha、計51.3haの春メロンが栽培されています。以前は、プリンスメロン（ネットがなく、ソフトボール大くらいで、甘み・香りがよい品種）を中心としたメロンの一大産地で、現在はアンデスメロンへと品種は変遷しましたが、後継者も多く、現地検討会等も頻繁に行いながら、おいしいメロンを作ろうと頑張っています。

12月15日から播種、1月17～21日頃が定植のピークです。毎年、球磨の厳しい寒さ、濃霧に悩まされていますが、今年産は天候に恵まれ、順調な生育をしています。

2月下旬から交配がはじまり、ハウスの中ではミツバチがせっせと働きはじめています。交配が終わり、着果してから立派なメロンになるまで、2か月近くかかります。

4月下旬には出荷が開始されます。

おいしい、甘い、爽やかな、球磨の春メロンお楽しみに。

